

たまなれ

通巻 第18号



新春奉納 御井町風流

頌
春

宮司 竹間 宗磨

平成二十三年辛卯歳を迎えるにあたり、謹んで聖寿の万歳と、国運の隆昌を祈念すると共に、産子崇敬者の皆様のご清福を心よりお祈り申し上げます。

筑後国一の宮と称えまつる高良大社は、御託宣にあるように普く人々に仁愛を注がれるとの御心の許多くの方々より崇敬戴いております。

本年も午前零時、新たなる神の御灯を戴き、新年を告げる一番太鼓が境内に響きました。大勢の初詣の皆様には清らかな御神氣の元、今年の希望と幸福をお誓い祈念されたことと存じます。

今年は九州新幹線が全線開通となり、いよいよ九州内は元より広く交通の利便性が図られてまいります。更に山麓県道バイパス開通も目前となつてまいりました。

「世は変われど 神は変わらず」

今正に混沌たるものまぐるしく進む時代に生きる私たちは、優れた日本文化を守り、国民精神の高揚を図り、そして皆様の心の拠り所、筑後の親神様なる高良山・高良大社の歴史と伝統を護り継承して戴きたく、今後も一層の深いご理解とご協力を御願い申し上げます。

年頭にあたり、謹んで御神威の元、祭祀の嚴修を専らとし、皆様のお心を心として、日々お仕えと活動に取り組んで参りたいと存じます。

祭事のご案内

〔一月〕



■玉替祭 一月十日



玉替祭のみ社頭に奉安される大宝珠

毎年一月の成人の日に執り行われる玉替祭。新年にあたり産子崇敬者の皆様の繁栄と幸運を祈念して斎行されます。

玉替祭は江戸時代の弘化二年に始まつたとされる高良山の伝統行事で、高良の神様が干珠・満珠という宝の玉を用いて神功皇后様をお輔けしたという故事にちなんで行われます。



いよいよ宝珠みくじの授与開始です。

午前九時からの御社殿での祭典の後、いよいよ新しい年の幸運を占う干珠・満珠を象つた「宝珠みくじ」の授与(初穂料五〇〇円)が開始されます。

例年「宝珠みくじ」の授与を待つ方々は、社頭に行列をなすほどで、新年の幸運を願う人々で賑わうお祭として知られています。

また、玉替祭には筑後地方を始め九州一円の数多くの篤志ある皆様のお供えもいただいております。九国二島の宗廟どうたわれ、



国家安泰の祈祷を修して鏡開きを行なつていました。小槌を振つて割られた餅は厄除け、延命の御利益があると信じられ参拝者に分けられました。このように高良の山内の僧侶は年中行事の助役を通して高良社の祭祀と深く関わり重要な役割を果たしていました。明治維新後、神仏分離の影響により神社に僧侶が出仕することになりましたが、鏡開の行事は厄除け・延命の祭りとして引き継がれ、多くの参拝者を集めようになりました。

当日は、社殿にて祭典が行われた後、還暦を迎えた祈願者二名が赤いちゃんちゃんこをまとい、宮司と共に鏡割を行います。また、参拝者にはせんざいがふるまれ境内はおおいに賑わいをみせます。

■鏡開祭 一月二十一日



御神幸には九州中の篤信家が供奉したと伝わる高良山。各社の商売繁盛も玉替祭にて祈念致します。「宝珠みくじ」の授与は午前九時半から開始され、おおよそ正午で授与終了となります。

この神事の起源は鎌倉時代の初期にまで遡るといわれています。長い間中断してしまったが、上津四地区（上津、本山、千束、二軒茶屋）有志のご奉仕とご協力により平成十二年復興以来毎年児童を含む方が装束を着けて上津地区より松苗を高良大社まで運び祭典し、社殿裏山に植樹します。

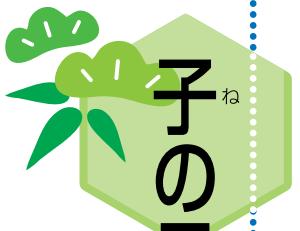
この「子の日の松」の行事は、正月初子の日に上津荒木（現久留米市上津町）の松苗を、高良社の広前に奉納し植樹するもので、その起源は、伝承によると、御祭神玉垂命が鎮座される以前、高良山には森がなく、すぐに山にお入りにならず、麓の松の木におおわれた丘を仮のお住まいに定められました。そして、手近な松の木を一本取り、高良山中にお住まいとするのに相応しい場所を選んでお植えになりました。そして、松苗が全ての山に植え付けられて、やがて高良山は緑豊かな松山となりました。そこでこれまでの仮の住まいより、高良山にお移りなったそうです。

「植樹の祖神」として高良の神の御神徳に因み、いつの頃よりか本山と高良山を結んで行われてきたのが、正月初子の日に、本山の松を高良山へ植樹する子の日の松神事になります。



子の日の松神事

二月十二日



二月から五月の祭事

子の日の松神事

二月十二日

◆紀元祭（紀元節祭）
二月十一日（建国記念日）

日本国の建国を祝い、皇室の弥栄、國の隆昌安泰を祈念します

◆祈年祭
二月十七日

「どしどいのまつり」ともい、全国の神社で行われます。稻作の初めにあたり、その豊穣を祈願するとともに、稻のみならず農作物の豊作、商業工業の発展を祈願し、皇室、国民の安泰と隆昌を祈ります。

◆昭和祭（つつじ祭）

四月二十九日（昭和の日）

昭和天皇の御聖徳を仰ぎ、国の繁榮を祈念します。

また、本殿横の久留米つつじ原木群の花開く季節と重なるため境内にて久留米つつじをお頌かちします。



謹賀新年
高良大社

代表役員
宮司

責任役員
竹間

宗磨
実

責任役員
飯籠

同 前川 博

同 川村

同 赤司

同 謙二

同 昌生

同 大石

同 義明

同 良人

同 包行

同 義範

同 永渕

同 渡辺

同 黒岩

同 延峰

同 光弘

同 俊毅

同 徹也

同 喜多村

同 祐勇

同 昌実

同 幸治

顧問

相談役

同 池田

同 平田

同 幸治

高良山秋の祭事のご報告



高良山くんち

十月九日・十日・十一日

十月九日未明、神生祭より始まるおくんちは神賑として各奉納行事があり最終日の観月祭には秋の夜を楽しむ大勢の方で賑わいました。又、高良山くんちに当たり永年神賑奉納等に御尽力戴いたご功績に感謝致し左記の方々を顕彰申し上げました。（敬称略）

久留米弓道連盟
高良山剣道大会実行委員会
久留米喜多流奉賛会
高良山十景舞保存会
御井町雅楽同好会
御井町風流保存会
高良山同志会（獅子舞奉納）
表千家不白流九州支部
御井校区老人クラブ連合会（清掃奉仕）

新嘗祭

◆ 筝曲奉納 生田流正派 中村 雅樂羨美
◆ 琵琶奉納 筑前琵琶保存会

筑前琵琶保存会
会主 青山
旭子
野点・お茶席奉仕
表千家北村社中
北村 宗孝

十一月十三日

今年は夏の猛暑が殊の外厳しい年で収穫が心配されましたが、多くの御初穂を献納戴きました。御神恩に感謝申し上げ、農業守護産業発展を祈念致しました。

鹿子島 豊記	野村 静男
山下 照之	中村 寛栗
中島 智徳	藤吉 義行
島ノ江 良昌	江口アキノ
小野 敏夫	江口 増広
藤井 辰男	梅野
川崎	

もみじ狩り

◆ 池坊 川口社中 境内清掃奉仕
重枝 康生 川口 弘子
大崎 忠男 重枝 葉子

◆久留米市消防団第十二分団
◆神事への協力及び清掃奉仕
高良大社奉贊青壯年会
◆生花展奉納
池坊 川口社中
川口 弘子

境内清掃奉仕
重枝 康生
大崎 忠男
重枝 葉子

秋本番となり、お山を紅葉に彩るもみじの名所紅葉谷で、地元御井町の皆様によつて第十一回高良山もみじ狩りが開催され、風情ある一時を楽しく過ごしました。

十月二十八日

何れの方もお仕事のお忙
しい中ご奉仕戴いており、
神社のみならず、多くの御
参拝の方々から感謝の言葉
を頂戴しております。

この御芳志を無にするこ
と無きようお願い申し上げ
ます。

○山麓からの参道の石段は、永い歳月の中での痛みが生じておりますが、篤信お一人のご奉仕により、修復作業が進められています。徐々に協力する方が出てきます。

○敬神の念篤き、久留米市山川追
分の(株)サンレイク住宅産業
池末吉隆社長以下社員の皆様
によつて、十一月下旬より山内
の手洗所、参道ガードレールの
清掃塗装作業のご奉仕を戴き
ました。

獻酒獻樽 · 獻饌 · 獻灯者芳名

(敬称略)

◆ 献酒献樽・献饌者芳名

新玉の年の初めに御神前への真
心からなるご奉納を戴きました。

◆ 献灯者芳名

ご崇敬各位より参道本坂両側に掲げる灯籠をご奉納戴きました。

中央製袋株式会社
ブリヂストン久留米工場
ムーンスター
萃香園
アサヒコーポレーション
大石みそ本店
福岡酸素株式会社
西井塗料産業株式会社
喜多村石油株式会社
ニシケン
大電株式会社
エサキ自動車
彌永税理士事務所
文殊保育園
木のぬくもり館
中川建材株式会社
えがみ塗装
九州防水株式会社
りくだい株式会社
九州電力株式会社
西日本シティ銀行
てしま整骨院
幸鮎
有限会社御井地所
株式会社キユーラツツ

A photograph of a traditional Japanese building facade featuring a wooden signboard with various business names written in vertical columns. The businesses listed include: 株式会社大久保建設 (Kajiwara Construction), 株式会社中島田鉄工所 (Nakajima Iron Works), 大至産業有限会社 (Ozumi Industry), 株式会社キヨードー仮設 (Kiyodo Temporary Housing), 渡辺プロパンガス (Watanabe Propane Gas), 秋吉内科 (Akagi Internal Medicine), 井手運送 (Imaishi Transportation), 西日本企画サービス (Nishihon Planning Service), サクラみそ食品株式会社 (Sakura Miso Food Co., Ltd.), 衛專株式会社 (Eisen Co., Ltd.), 木匠 中村建設 (Mokko Nakamura Construction), 津福工業 (Tinpo Industry), 丸永製菓株式会社 (Maruharu Confectionery), とまと運送 (Tomoto Transport), 株式会社丸仙工業 (Marusen Industry), 森光 健 (Morikō Ken), 権藤写真館 (Kontou Photography), 株式会社筑陽電設 (Chugyou Electric), 大洋工務店 (Dai-ō Gomu-sha), 大牟田自然を守る会 (Miyazaki Nature Protection Association), 権藤写真館 (Kontou Photography), 上野クリーニング (Ueno Cleaning), and 最所産業 (Saizoku Industry).

日吉プリント 株式会社筑水管材
株式会社近藤建設 ミスター・ジヨージ
石井ガス機器 森山整形外科院
株式会社みのう 杉村設備
太陽住設 古賀塗装店
伊勢屋 京屋 藤山自動車
宮原運輸 坂田ガス住設
小坂自動車 必勝堂
しゃぶ源 大和クレーン
中村畜産 株式会社山下地所
赤坂食料品店 御井町郵便局
島機械センター 姫野酒店
姫野パークインビル
香和印刷 やなぎ亭
天勝 有限会社マイスター
吉金菓子舗 木下楽器店
SIC 瑠庵 デュオ

新年のごあいさつ



高良大社崇敬会会二

井手和英

新年明けましておめでとうございます。
崇敬会会員の皆様には、明るい
希望に満ちた新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

宗敬会は、本年で四周年を迎え、会の活動も徐々に軌道に乗つてまいりました。本年も会員の皆様のあたたかいご支援、ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

当会は高良大社の御祭神を敬い、大社の弥栄と歴史的文化遺産の維持継承を願い、広く社会に貢献するため、高良大社の行う諸事業を支援、協力することを目的として設立された民間の団体であります。昨年度は次のような事業を実施いたしました。例年どおりの奉賛金の奉納と、昨年に引き続きの大社境内の久留米手の杉の木の倒壊防止工事を行いました。また会員研修交流会といたしまして、田中正日子先生（久留米市文化財専門委員会会长）による高良山歴史講座を昨年に統一して開催

ご案内のとおり二月二十五日（金）～二十六日（土）の日程で伊勢神宮参宮旅行を開催することにいたしております。伊勢神宮は、日下平成二十五年の式年遷宮を控えて様々な祭典、行事が行われております。今回は、一般には参拝できない御垣内での特別参拝をさせていただくことになります。多くの会員のご参加をお願い申し上げます。

私たち日本民族の大御祖の神である天照皇大神様をお祀りするお伊勢さんには良大社竹間宮司と共に参拝して、敬神崇祖の気持を更に高めるとともに今年一年が平和で明るい年になるよう祈願してまいりましょう。

乗せた三基の神輿と一千名以上からなるお供の行列の市内巡行の様子は、厳肅の中にも絢爛豪華で、高良大社の繁栄ぶりを垣間見ることが出来ました。ビデオを拝見いたしました会員の多くが感嘆すると同時に、このすばらしい伝統神事を引き継いでいくことの大切さを痛感した次第であります。

〔高良大社より〕報生



テント



中門前大幟



本殿内御簾

伊勢神宮旅行のお知らせ

この度第一回伊勢・熱田両神宮の参拝旅行を企画致しました。崇敬会会員のみならずどなたでも御参加戴けますので、御近所御仲間御誘い合わせの上、奮って御申しあげ下さい。

【日程】

平成二十三年
二月二十五日(金)～二十六日(土)

◆二月二十六日(土)

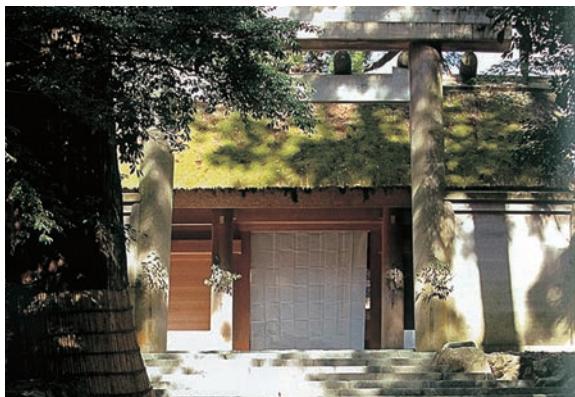
福岡空港→中部国際空港
伊勢神宮(正式参拝)
二見ヶ浦
伊勢神宮外宮(自由参拝)
鳥羽シーサイドホテル 泊
中部国際空港→福岡空港

《熱田神宮》

三種の神器の一つである『草薙の剣』を祀る勅祭社に正式にお参りします。

《伊勢神宮》

全国八万社の総氏神さまであ



伊勢神宮 内宮

る神社。平成二十五年に第六十二回の御遷宮(神様のお引越し)を控えて着々と準備が進んでいます。
普段なかなか入ることのできない御垣内で正式に天照大御神さまにお参り戴き、神楽殿に於いて神楽の奉納を致します。

◆

▲参加費 お一人 六万四千円

但し、朱印代・集合写真代など
は含みません

◆

▲締切り 一月十六日

▲申込方法

高良大社崇敬会事務局にお電
話下さい。申込用紙をお届け致し
ます。

◆

二月二十五日(金)

◆

二月二十六日(土)

◆

福岡空港→中部国際空港

◆

伊勢神宮(正式参拝)

◆

二見ヶ浦

◆

伊勢神宮外宮(自由参拝)

◆

鳥羽シーサイドホテル 泊

◆

中部国際空港→福岡空港

崇敬会入会のご案内

高良大社を物心両面より支援する高良大社崇敬会に入会し、高良山について熱く語り合いませんか?

◆年会費

個人会員

正会員

三、〇〇〇円以上

賛助会員

一〇、〇〇〇円以上

法人会員

正会員

一〇、〇〇〇円以上

賛助会員

三〇、〇〇〇円以上

◆入会方法

事務局まで御連絡下さい。

お問い合わせ先

高良大社崇敬会事務局

電話〇九四二一四三一四八九三
FAX〇九四二一四三一四九三六



高良山通信

勤続十年表彰

権禰宜 美明 正治

平成二十二年十一月二十三日

巫女見習 松井 瑞穂

巫女を命ずる

平成二十二年十一月一日

木鶴

『我未だ木鶴たりえず』大分県は宇佐市出身の大横綱双葉山が連勝

九州場所で横綱白鵬が二日目にしを阻まれた時の心境を語るエピソードである。何事にも無心で取り組

まなくてはならないとの戒めとも言ふ格言とも受け取れるが、去る大相撲

九州場所で横綱白鵬が二日目にしを阻まれた時も恐らく

同じ心境であつただろう。視点を平

成二十二年の一年を振り返り見る

と色々な出来事があつた。▲宮崎県

の口蹄疫、平城京遷都一三〇〇年、

沖縄普天間基地問題、高齢者不明、

ワールドカップ日本大健闘、参議院選挙、猛暑に続く豪雨気象、ノーベル化学賞日本人受賞、尖閣列島・北

方領土問題などが目まぐるしく起

こり、そして忘れ去られていった。

しかし斯界にとつては教育勅語渙

発百二十周年が一番の大きな節目

ではなかつたか。▲今の世情を鑑み

るに次々と起ころ出来事を如何に

心に留め置き、咀嚼し活用すること

がどれだけ重要なことか計り知れ

ない。事業仕分けの件で某女性議員

に対する歴史の舞台に立つ覚悟は

あるのか?』という問いは、ある意

味で我々国民に対しても問われて

いるのである。▲明治天皇がお示し

になられた十二の徳目を精神的な

柱として、これから日本の日本国民は前

進するべきであるし、木鶴のような

境地に至るよう努めていくべき岐

路に立つてゐるのである。

鎮守の社

「たまたれ」 通巻十八号
平成二十三年一月一日発行

発行者／高良大社社務所

福岡県久留米市御井町一一番地
電話〇九四二一四三一四八九三
FAX〇九四二一四三一四九三六

福岡県久留米市御井町一一番地
電話〇九四二一四三一四八九三
FAX〇九四二一四三一四九三六

福岡県久留米市御井町一一番地
電話〇九四二一四三一四八九三
FAX〇九四二一四三一四九三六

福岡県久留米市御井町一一番地
電話〇九四二一四三一四八九三
FAX〇九四二一四三一四九三六